

福岡県労連
KEN ROREN ZENROREN

2021
11月号
No.179

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索

[定価]
1部10円

QRコード

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード:kouyou (12/1~12/31)

福岡県は野党共闘で2議席獲得!

10年ぶりに自民独占を破るも 課題が明らかとなった衆議院選挙

の宣伝、地区労連と共同して行ったニュースカー運行、立候補者への要請を行いました。

宣伝行動を 県内各地で

7千枚のチラシを街頭で配布し、8回の宣伝行動、総選挙対策本部ニュース4回発行など従来以上の取り組みを行いました。チラシの受取はよく、政策パネル展示を見るため足を止める人も出るなど、今まで以上に反応が見えた運動となりました。加えて原水協などの団体の協力で県立高校や大学の門前でチラシ配布を行いました。

博多駅前宣伝



今回の衆議院選挙は、初めて、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の4つの政党が、市民連合との間で共通政策を結び闘うことができた選挙となりました。

県労連では総選挙対策本部を立ち上げ、チラシ・プラスタール・ニュースカーマガネット・横断幕を作成し、街頭で「選挙に行こう!」



大牟田地区労連宣伝

化が実現し、その結果、62の選挙区で勝利となりました。細かく見ていくと、54選挙区では1万票未満の接戦となり、もう一歩進んでいれば選挙結果が大きく変わる事となりました。

自民党は15議席減少も261議席で単独過半数、公明党は3増の32議席、日本維新の会は31議席増の41議席となり、その結果、衆議院では改憲政党3分の2を超える議席を占めることとなりました。ただ一方で、自民党幹事長が落選するなど国民が候補者のこの間の姿勢をしっかりと見据え投票したことも見受けられました。大きく増えた日本維新の会も2012年が54議席だったことを考えると決して最高の到達ではありません。

求められる 改憲阻止の運動

来年夏の参議院選挙は、日本維新の会が総選挙後すぐに述べたように、憲法改憲が大きな争点となることが予想されます。私たちは憲法改憲を絶対に許すことは出来ません。そのためにも次の参議院選挙は必ず勝利が必要です。県労連は来年夏の参議院選挙に向けて、幹事会・評議員会で、加盟組合・地区労連の皆さんと討議を行い、勝利を勝ち取る方針を確立させていきます。ともに頑張りましょう。

共闘が 大きく前進

日本全国で214の小選挙区で候補の一本

最低賃金審議会の運営改善を求めて 福岡労働局に要請



賃金室長(左)へ要請書を手渡す

2021年の最低賃金が10月1日から改定されたことを受け、福岡県労連は10月29日、福岡労働局長に「令和3年最低賃金改定と今後の最低賃金改定審議に向けた要請」を行いました。この要請行動には、福岡自治労連、福岡県医労連、エフコープ生協労組、北九州地区労連、福岡県労連から6名が参加しました。

今回の要請では、県労連傘下の組合が提出して

いる意見書や異議申出書がどのようなに扱われているのかを質し、今年は一歩前進した審議の公開について、すべての審議の公開を求めました。また、労働者側の意見聴取について、県労連が多く組織している非正規労働者や医療・介護に携わる労働者を入れること、他県では実施されている意見書や異議申出書を提出した労組に直接意見陳述させること、連合独占の最賃審議会労働者委員を公正に任命することなどを求めました。

労働局は、意見書や異議申出書はすべて本省に送っていること、審議会委員は公正に任命していることを回答し、その他の項目については最賃審議会に伝えるとしました。

告知記事

22春闘総会・討論集会

日時:12月12日(日)総会10時30分開会・討論集会13時開会
会場:第5博多偕成ビル
学習会講師:立命館大学経済学部教授松尾匡先生

県労連第13回青年部総会

日時:11月21日(日) 10時~13時
会場:第5博多偕成ビル

県労連女性センター学習会

テーマ「輝いて生きたい!仲間とともに」
日時:11月28日(日) 13時 受付
13時30分 開会
会場:第5博多偕成ビル
講師:尾崎恵子さん(元客室乗務員)



郵政労契法20条全国集団訴訟福岡裁判

原告6名勝利和解、残る2名は係争



報告集会で決意を語る原告団

郵政労契法20条全国集団訴訟福岡裁判は、10月5日、和解協議が行われ、原告8名中6名については、概ね原告の請求に依る勝利和解を勝ち取りました。残る2名については、被告である日本郵便が2018年10月以降の期間について認めず、今後も争っていくこととなりました。

報告集会で重松原告団長は、これまで会社が行ってきた正社員の待遇引き下げを批判し、「私たちの敵は正社員ではない」と強く主張し、一部和解はしても原告全員が勝利を得るまで、原告団として闘う決意を示しました。今後は、会社が示す期間も対象となる原告の勝利を目標として争い、最高裁が認めた格差の是正を職場の非正規社員全員に反映する事を求めて、裁判を争っていきます。全国でも60数名が各地で係争します。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。

年金裁判 福岡高裁12月22日に結審

地裁とは違う展開に

私たち年金者組合は、年金生活者の実態を明らかにするというと、誰もが安心して生活できる年金制度を創るということを目的として年金裁判を取り組んできました。



期日前の宣伝行動

特に、年金者組合の発足以来の基本的要求の「最低保障年金制度」の創設や年金を自動的に引き下げるマクロ経済スライドの廃止を求めてきました。福岡地裁では「棄却」の敗訴判決でしたが、現役労働者や県労連副議長の現役世代の年金制度の問題点も陳述していただきました。

現在福岡高裁で口頭弁論が続いていますが、裁判官は国に対し、「特例水準」解消の立法経過について、具体的に説明するよう求め、地裁とは違う展開になっています。

しかし、福岡高裁は9月29日、4回目の口頭陳述で12月22日に結審することを明らかにしています。

11・3憲法集会 改憲は絶対に許さない



警固公園に集った参加者

九条の会福岡県連絡会主催で11月3日に警固公園で「2021年憲法公布記念憲法フェスタin福岡」が3000人の参加で開催されました。

訃報



県労連で初代議長を務められた平川二男（ひらかわ つぎお）さんが、10月6日、99歳でお亡くなりになりました。

初代議長・平川次男氏のご逝去に合掌し心からご冥福を祈ります

福岡県労連 初代事務局長 藤田 勝輝 拜

「初心貫徹」の九十九歳の大兄の確たる生涯に労働者の拍手で讃えます。貴兄とは、佐藤内閣に對する1969年第2安保の38単産ア

「あの夏の絵」NEWS

なかまをつなぎ、次は演劇鑑賞 『あの夏の絵』プレ企画開催!!

10月23日に、青年劇場『あの夏の絵』のプレ企画で『なつプレ～なかまと平和つなごう絆～』が開催されました。参加人数は約20名で、高校生の参加もありました。



ワークショップで後出しジャンケン

その後、参加者を3班に分けて、『核をなくすために』をテーマにグループトークを行いました。それぞれの班で意見をまとめ、最後に発表が行われ「政権交代が必要」や「核兵器禁止条約に署名・批准をすることが一番」といった意見が出ました。



グループトークで意見を出し合う

九州セミナー

初めてのオンライン開催に九州はじめ全国の仲間が参加

第31回人間らしく働くための九州セミナー「第31回人間らしく働くための九州セミナー」が10月9日、10日に開催されました。



2日間で約770人が参加

一日目は浅倉むつ子早稲田大学名誉教授がコロナ禍をジェンダーの視点からとらえて女性の過酷な現実を訴えました。続くパネルディスカッションでは各団体の取り組みや相談事例を報告。コロナ禍で浮き彫りになった社会保障の問題や女性の困難を共有しました。

立ちました。1979年の社会党と公明党が野党合意し、総評も連合と糾合し解散を決めました。私たちが全国的に団結し、第二次臨調とアラザ合意路線に反対して1981年に全国革新懇談会を築きました。1980年代に総評は自ら組織解体し連合結成へ進みました。ベルリンの壁は崩壊し北京騒動、ソビエト国解体など冷戦時代が崩壊しました。1989年、労働組合の再編解体が始まり、11月21日に連合が結成され、同日に全国労働組合総連合（福岡県労連は26日）を結成しました。1991年の県知事選挙は現職の奥田八二氏が革新統一候補として立候補され、県評社会党なきあ」と第三次革新県政を確立しました。そして1995年の県知事選挙に革新統一候補として平川次男氏が革新統一の全勢力を集めて立候補されました。同氏の不屈の「初志貫徹」の革新の精神により福岡県政と労働運動の新しい実績と歴史をつくりだしました。同氏の貢献に心から賛辞を送ります。

二〇二一年十一月 初霜の季

11月3日文化の日。コロナ禍で外出自粛を続けてきて、久しぶりに福岡市天神に出てきました。警固公園で開催された「憲法フェスタin福岡」に参加するためです。緊急事態宣言が解除され、警固公園には多くの若者がのんびりと休日の午後を過ごしていました。75年前の1946年11月3日、日本国憲法が公布されました。今回の総選挙では自民・公明、維新で、改憲発議に必要な3分の2を超える状況となりましたが、警固公園で平穩に過ごしている若者たちを眺めながら、決してこの若者たちが戦争で命を落とすような世の中にしてはいけないと、「9条守れ」の決意を新たにす一日となりました。(い)

二日目、藤原辰史京都大学准教授による講演では食や環境の歴史から新自由主義政策の問題点が指摘され、パネルディスカッションではエッセンシャルワーカーの長時間労働、ストレスを解消できない働き方の問題点が指摘されました。

コロナ禍の影響で2年ぶりの開催となった今回は初のオンライン開催など挑戦の多い取り組みでしたが、二日間で約770名という多くの参加で充実したセミナーとなりました。

編集後記